学校番号	2101

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	論理国語	単位数	４単位	年次	全年次 （現代の国語・言語文化履修後）
使用教科書	「新編　論理国語」　（大修館書店）						
副教材等	「〈五訂版〉漢字検定５～２級対応　常用漢字ダブルクリア」　（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・評論文を読むことを通して、全体の構成、作者の意図する主張やテーマなどを理解していくことをめざします。
・現代日本語文法を学び、それらを意識しながら文章を読むことも行います。
・データの取り方・扱い方も同時に学びます。また、学習した文章について、感想を書くなど、自ら発信することにも挑戦しましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付け、それらを応用することができる。
【思考力、判断力、表現力等】
・論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとすることができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・実生活において使用される漢字を書くこと、読むことができる。 ・評論文において使用される現代日本語文法について理解し、そこから筆者の主張を読み取ることができる。	・文章や資料を対象化して、その正誤や適否を吟味したり検討したりすることができる。 ・文章や資料に書かれていることから考えられることを自身の言葉を用いて論理的に説明することができる。	・言葉によって自分の考えを形成したり新しい考えを生み出したりすることができる。 ・言葉から様々なことを感じたり、感じたことを言葉にしたりすることで心を豊かにすることができる。 ・言葉を通じて他者や社会と関わり自他の存在について理解を深めることができる。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
前半	筆者の主張を的確に捉える ［教材］ 「対話の精神」 平田オリザ	a:接続詞から筆者の主張を導くことができる。 b[書]:筆者の主張を批判的に考え、自身の考えを記すことができる。 c:他者の意見を積極的に読み取ろうとしている。また、自己の意見を他者に伝えるために工夫している。	・発問 ・単元テスト ・ワークシート	・発問 ・単元テスト ・記述の点検	・記述の点検 ・行動の観察
	グラフと本文の整合性を考える ［教材］ 「コミュニティから見た日本」 広井良典	a:グラフから読み取れることを理解している。 b[読]:グラフから必要な情報を読み取り、グラフごとの特徴を考えることができる。 c:グラフを用いて他者に情報を伝えようとしている。また、伝わりやすいグラフとなるよう工夫している。	・発問 ・単元テスト ・ワークシート	・発問 ・単元テスト ・記述の点検	・記述の点検 ・行動の観察
	ものの見方を広げる ［教材］ 「スキーマと記憶」 今井むつみ	a:本文で使用される言葉の概念を理解している。 b[書]:物事を理解するときの原理を自己の言葉を用いて他者に説明することができる。 c:自己の日常生活の中にどういった「スキーマ」があるかを考えている。また、それを他者に伝えるための工夫をしている。	・発問 ・単元テスト ・ワークシート	・発問 ・単元テスト ・記述の点検	・記述の点検 ・行動の観察
	論拠から筆者の主張を読み取る ［教材］ 「分かち合う社会」 山際寿一	a:食生活と人間関係に密接なつながりがあることを理解する。 b[読]:霊長類の共通点を見つけ出すことができる。また、他者と共存する上で必要なことを見つけ出すことができる。 c:授業を通して他者と積極的に関わろうとしている。また、意見を交換することを通して自己の向上に努めている。	・発問 ・単元テスト ・ワークシート	・発問 ・単元テスト ・記述の点検	・記述の点検 ・行動の観察
後半	文全体の特徴を理解する ［教材］ 「「贈り物」としてのノブレス・オブリージュ」 内田樹	a:筆者の発想のしかたを理解する。 b[読]:筆者の主張をふまえて、自己と他者について考える。 c:他者の意見を積極的に読み取ろうとしている。また、自己の意見を他者に伝えるために工夫している。	・発問 ・単元テスト ・ワークシート	・発問 ・単元テスト ・記述の点検	・記述の点検 ・行動の観察
	対比構造の特徴を理解する ［教材］ 「記号的メディアと物理的メディア」 伊藤亜紗	a:本文で定義される言葉の意味を理解する。 b[書]:本文で使用される言葉を用いて自己の考え・意見を述べることができる。 c:授業を通して他者と積極的に関わろうとしている。また、意見を交換することを通して自己の向上に努めている。	・発問 ・単元テスト ・ワークシート	・発問 ・単元テスト ・記述の点検	・記述の点検 ・行動の観察
	筆者の主張を的確にとらえる ［教材］ 「ポスト真実時代のジャーナリズムの役割」 国谷裕子	a:接続詞から筆者の主張を導くことができる。 b[書]:筆者の主張を批判的に考え、自身の考えを記すことができる。 c:他者の意見を積極的に読み取ろうとしている。また、自己の意見を他者に伝えるために工夫している。	・発問 ・単元テスト ・ワークシート	・発問 ・単元テスト ・記述の点検	・記述の点検 ・行動の観察

	自己の意見と交えて文章を評価する ［教材］ 消費されるスポーツ 多木浩二	a:筆者の歴史に対する考えを理解する。 b[読]:筆者の歴史観を自己の言葉で批評する。 c:授業を通して他者と積極的に関わろうとしている。また、意見を交換することを通して自己の向上に努めている。	・発問 ・単元テスト ・ワークシート	・発問 ・単元テスト ・記述の点検	・記述の点検 ・行動の観察

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準b[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　０　　）時間

・書くこと　…　（　５０～６０　）時間

・読むこと　…　（　８０～９０　）時間